

(様式1)

整理番号	3	-	3	0	1	1	5	-	2	-	1	-	1
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム」申請書（様式）

申請の形態	① 単独 2 共同	設置形態	1 国立 2 公立 ③ 私立
大学・短期大学 ・高等専門学校名	北海道情報大学		
所在地	〒 069 - 8585 北海道江別市西野幌59番2		
設置者名	学校法人 電子開発学園		
学長の氏名	嘉数 侑昇		

申請区分	教育方法の工夫改善を主とする取組	取組期間	平成20年度～22年度		
取組名称 (全角20 字以内)	I C T に よ る 自 律 的 F D 推 進 モ デ ル の 構 築 (副題) ファカルティポートフォリオシステムの開発、導入による教育の自律機能の実現				
取組学部等	全学				
申請の分類	教養教育	専門基礎	キャリア	外国語	体験活動
	職業教育	○ ICT	成績評価	初年次教育	補習教育
	高大連携	○ FD・SD	地域活性化	知的財産	環境教育
	その他 ()				
キーワード (5つ以内)	ICT、ファカルティポートフォリオ、自律的FD推進モデル、PDCAサイクル、 インストラクショナルデザイン				

ふりがな	ふじ たかし	所属部署名	経営情報学部 教授	
取組担当者	富士 隆	及び職名	教務部長 (FD委員長)	
住所(勤務先等)	〒 069 - 8585 北海道江別市西野幌59番2			
電話番号	011-385-4411	FAX番号	011-384-0134	
	090-3398-8276			
e-mailアドレス	fuji@do-johodai.ac.jp			

ふりがな	かざま くにやす	所属部署名	事務局 総務課	
事務担当者	風間 國康	及び職名	課長	
住所(勤務先等)	〒 069 - 8585 北海道江別市西野幌59番2			
電話番号	011-385-4411	FAX番号	011-384-0134	
	090-7648-2506			
e-mailアドレス	kazama@do-johodai.ac.jp			

取組の概要

大学の全入時代を迎えて、大学はこれまでになく多様な学生が増加している。そのような教育環境の変化の中で、大学全体として教育の質をいかに高めていくかが問われている。本取組は、「ICTによる自律的FD推進モデルの構築」により、教員が教育の質を高めるためのPDCAサイクルを実現することを目的とする。

例えば、米国の大学では、既にICTを授業に活用することで教育の質の向上の成果を挙げている。本取組は、教員が各自のパソコンを利用しながら、授業、即ち、PDCAサイクルのDo（授業）の部分のみならず、Plan（授業改善計画の作成）、Do（教材開発、授業）、Check（評価）、Action（研修、自己点検）のサイクルを自主的に行い得るシステム構築のために、ファカルティポートフォリオ（データベース）をコアにした自律的FD推進モデルの構築を目指している。

ICTによる自律的FD推進モデルの概念図を示す（図1）。ファカルティポートフォリオには、PDCAの各サイクルでの成果物が蓄積され、次の各サイクルで再利用される仕組みを開発する。

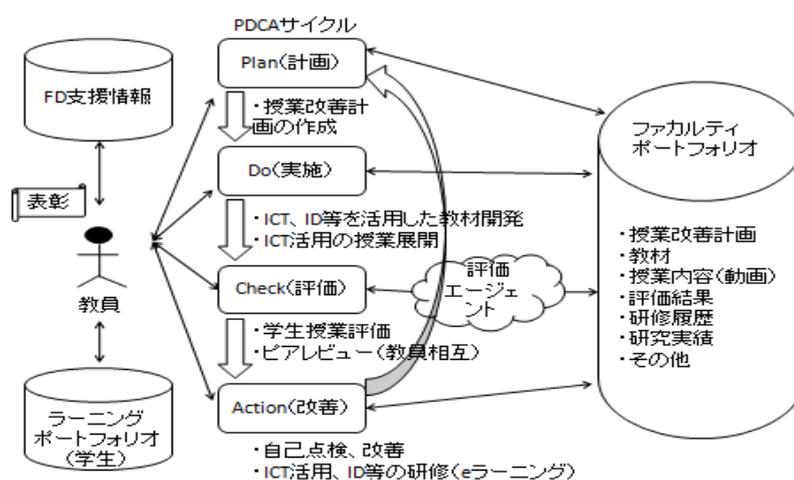


図1 ICTによる自律的FD推進モデルの概念図

(1) Plan（授業改善計画の作成）段階での支援機能の開発

ファカルティポートフォリオに蓄積された学習授業評価アンケートやピアレビュー結果の閲覧、ICTの利用方法やインストラクショナルデザイン（ID）を用いた教材開発などのFD支援情報を参照しながら、授業改善計画を作成する環境を開発、利用する。

(2) Do（教材開発、授業）段階での支援機能の開発

教員が、ICTやIDを用いた教材開発を容易にできるためのテンプレートを開発する。授業の展開はICT活用が可能なシステムを導入する。各教室での授業（動画）は、ファカルティポートフォリオに蓄積され、教員は自らの授業を自己点検可能となる。

(3) Check（評価）段階での支援機能の開発

学生授業評価アンケート、ピアレビューの結果、研修履歴、研究実績などの情報を総合的に判断し、適切な情報を提供するための評価エージェントを開発、導入する。

(4) Action（研修、自己点検）段階での支援機能の開発

評価内容に基づき、改善のために必要なICTおよびID活用のためのノウハウ、知識等をeラーニングで学べる環境を開発し、活用する。